女性のがん検診ご案内

回覧

検診日	受付時間	会場
１０月２３日 （金） ※集団検診は、今回が 今年度最後です。	①　８：００～　８：３０ ②　９：００～　９：３０ ③１０：００～１０：３０ ④１１：００～１１：３０ ⑤１３：００～１３：３０	としべつ 保健センター

申込受付期間　9/7（月）～9/24（木）

申込方法　LINE、電話、メール又は窓口でお申込みください

★LINE（今金町公式LINEから申込可）

★TEL 82-2780（平日8：30～17：15）

★メール　(imk-kenko@town.imakane.lg.jp)

LINE予約 ： スマホで 右の二次元コードを読み取って、アクセスできます！
（新規の方はアカウント作成が必要です）

申込内容　住所、氏名、生年月日、連絡先、保険種別、検診項目、託児希望有無。

検診機関　北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター

≪検診の種類と料金について≫　乳がん・子宮がん検診は２年に１回必ず受けましょう！

	対象者（女性のみ）	検診内容	今金国保・後期高齢者医療加入者	社保等加入者
乳がん検診	２０歳以上	マンモグラフィ検査	２，０００円	２，５００円
子宮がん検診	２０歳以上	子宮頸がん細胞診 経腟エコー検査	２，０００円	２，５００円
新規 骨粗しょう症検診	R8年度に、４０・４５・５０・５５・６０・６５・７０歳に達する方 （５月に個別通知済）	超音波法 （検査部位：かかと）	５００円	

マンモグラフィ検査は女性技師が
が行います

➡　裏面につづく

【問い合わせ先】　保健福祉課健康づくりグループ　電話８２－２７８０

◆乳がん

≪検査方法≫　マンモグラフィ

４０～６０代女性のがん死亡原因　第１位

乳がんは自己触診だけでは見つけることが難しく、早期発見のためにはマンモグラフィによる検査を定期的に受けることが大切です。

乳がんは、早期に発見して治療すれば95%以上が治癒します。

◆子宮頸がん

≪検査方法≫　細胞診、エコー検査

２０代後半以降から増え、特に３０～４０歳代の女性で近年増加傾向にあります

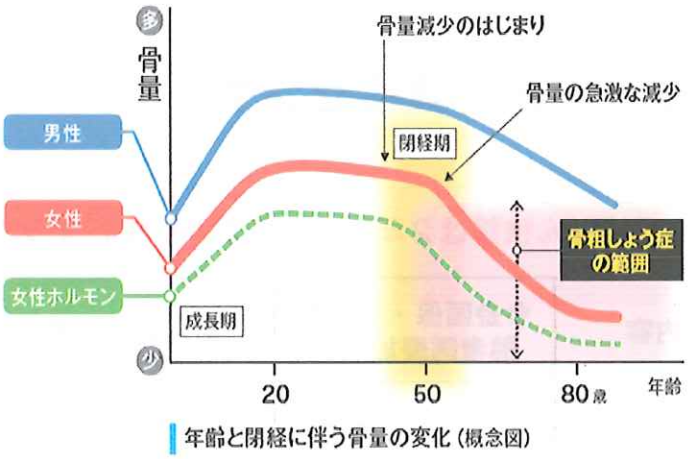
子宮頸がんはHPV（ヒトパピローマウイルス）への感染がきっかけとなります。感染から発症まで平均５～１０年かかり、早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では進行している場合があります。 子宮頸がんは、早期に発見して治療すれば90%以上が治癒します。

ちなみに中１～高１女子対象の子宮頸がん定期予防接種では、HPV感染を防ぎ、子宮頸がんの原因となる８０～９０%を防ぎます。予防接種をしても検診はずっと必要です。

（参考：国立がん研究センター、健康研究センター保健社会学研究部「希望の虹プロジェクト」リーフレット・
厚生労働省　HPVワクチンを知ってください～あなたと関係のある《がん》があります～　）

★ピンクリボンは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的として行われる世界規模の啓発キャンペーンシンボルです。

40歳からはじめる 骨粗しょう症検診



年齢と閉経に伴う骨量の変化（概念図）

４０歳から自分の骨量を知るべき年齢

女性ホルモンの減少に伴い、閉経後は骨量が急激に減少し、発症が増えます。

そのほか、飲酒、喫煙、低体重（低BMI）、運動不足、遺伝、骨折歴があると骨粗しょう症になりやすいといわれています。

▶骨粗鬆症は自覚症状がないことが多く、自分で病気に気づくことが難しいため、早期に予防や治療に取り組むためには骨粗しょう症検診を積極的に受診することが重要です。

骨の健康のためにできること

栄養バランスのよい食事をしっかりとる	とくに骨の主成分となるカルシウム、カルシウムの吸収を促すビタミンＤを積極的にとりましょう。
適度な運動を続ける	運動は継続が大切。ウォーキングやスクワットなど無理せずできることをやってみましょう。
日光を浴びる	ビタミンＤは日光によって皮膚でもつくられます。夏なら木陰で30分、冬なら１時間程度、体の一部を日にあてるだけでじゅうぶんです。

対象の方は！　骨粗しょう症検診（骨密度検査）を受けましょう

出典：骨粗鬆症財団